

第43回

日本美容皮膚科学会

総会・学術大会



日本美容皮膚科学会
Japanese Society of Aesthetic Dermatology

モーニングセミナー 5

ナノサイズ微細水粒子の肌適用の可能性

日時 2025年8月17日(日) 8:00-9:00

場所 F会場 (大阪国際会議場 12F グラントック)

座長

杉野 宏子先生

医療法人社団青真会 青山エルクリニック

木村 有太子先生

順天堂大学医学部 皮膚科学講座

演題
1

金森 千春先生

医療法人晋晃会 ちはるクリニック

デリケートゾーンの肌適用の可能性

演題
2

高瀬 聡子先生

医療法人社団愛心高会 ウォブクリニック中目黒

経皮水分蒸散量と バリア機能改善の可能性

演題
3

奥 謙太郎先生

医療法人社団光悠会 HILLS GRACE CLINIC

微細水粒子のポテンシャル： レーザー治療との組合せによるメリットの最大化

AISIN

共催：第43回 日本美容皮膚科学会総会・学術大会 / 株式会社アイシン

ナノサイズ微細水粒子の肌適用の可能性

演題 1



デリケートゾーンの肌適用の可能性

演者 金山 千春先生 医療法人晋晃会 ちはるクリニック

これまでナノサイズ微細水粒子（以下、微細水粒子）は、アトピー性皮膚炎、尋常性ざ瘡、美容皮膚科領域における長時間保湿や成分導入、レーザー等後の赤みに対するダウンタイム減少において、効果を発揮することが報告されてきました。昨今のフェムケア市場の拡大に伴い、デリケートゾーンの肌悩みをもつ患者が増えてきている中、非接触、非侵襲、刺激なく肌の保湿ができる微細水粒子のデリケートゾーンへの適用症例は報告されていません。デリケートゾーンは他人に長時間見られたり施術されるのが恥ずかしい箇所であるため、看護師や医師の施術が不要で非接触で行える微細水粒子による施術は、患者にとって魅力的です。

当院では、一般診療に加えて多くの患者が微細水粒子施術を希望します。非接触でありながら効果を実感できる施術として、高い評価とリピーター率が確認され、微細水粒子を用いた非接触施術は、婦人科美容皮膚科領域において有望な治療法であり、患者の満足度も高い事が示されました。

今後は多くの症例を集め、効果の検証を進めていく予定です。

本講演では、婦人科におけるデリケートゾーンの色素沈着や粉瘤手術後の傷治癒、痒みの改善を目的として微細水粒子を適用した方法や運用方法について発信します。

演題 2



経皮水分蒸散量とバリア機能改善の可能性

演者 高瀬 聡子先生 医療法人社団愛心高会 ウォブクリニック中目黒

近年、スキンケアの際に刺痛感や灼熱感、また皮膚の緊張感を感じるが、目に見える症状が特に見られないという状態の皮膚トラブルいわゆる敏感肌の患者が増加している。これは、皮膚のバリア機能低下により起こっていると考えられる。ナノサイズ微細水粒子（以下、微細水粒子）の保湿持続効果やアトピー性皮膚炎、尋常性ざ瘡等炎症を伴う皮膚疾患への効果が以前より報告されており、本研究では経皮水分蒸散量（以下、TEWL）が10g/h/m²以上かつ皮膚トラブルを自覚している患者に対し、微細水粒子を適用した際の安全性や効果を検証した。

上記症状がある女性被験者16名を対象に、幹細胞培養上清液と微細水粒子を併用する群と、セラミド美容液と微細水粒子を併用する群に分けた。週1回、美容液を顔の片側半分のみ塗布した後、顔全体に微細水粒子を20分適用する半顔法で実施した。二重盲検比較試験にて評価し、処置期間は6週間、経過観察は6週間とした。観察項目は角質水分量、TEWL、医師診察による改善度（しみ、しわ、毛穴、肌トーン、たるみ、赤み、乾燥、湿疹、痛み、痒み）、およびテープストリッピングによるセラミド分析であった。

結果、微細水粒子と美容液の併用側および微細水粒子のみ側の双方で、角質水分量の上昇とTEWLの改善、セラミド量の上昇が確認され、バリア機能改善の可能性が示唆された。医師診察では、微細水粒子と美容液の併用側および微細水粒子のみ側の双方で、改善効果が確認された。また、全被験者において有害事象は無く、安全性に問題はなかった。

今後、皮膚トラブルを自覚している患者に対して臨床への応用が期待され、当日は本研究の症例結果を詳しく紹介する。

※本試験で使用した幹細胞培養上清液は、再生医療等製品でなく臨床研究法の適応外です。

演題 3



微細水粒子のポテンシャル： レーザー治療との組合せによるメリットの最大化

演者 奥 謙太郎先生 医療法人社団光悠会 HILLS GRACE CLINIC

日本独自の特殊技術によって形成された約φ1.4 nmの水分子集合体であるナノサイズ微細水粒子（以下、微細水粒子）は、その特性が通常の水分子とは異なり、動物・植物に依らず生体自体に特殊な作用を及ぼすことが多くの研究から示されている。美容皮膚科領域では、育毛に関する効果、にきびに関する効果が統計学的有意差をもって得られることが確認されていることに加え、当施設においてもピコ秒アレキサンドライトレーザー照射後に発生する紅斑を有意に減弱させることが示されている。post treatmentとしての効果が実証された本機器において、フラクショナルピコ秒アレキサンドライトレーザー治療のpre treatmentとして微細水粒子の付加を行ったところ、post treatmentと同様に照射後反応の有意な減少が観察された。本セッションでは、微細水粒子についてその特性を概説するとともに、pre and post treatmentとして微細水粒子の可能性について紹介する。

※微細水粒子を使用した製品は美容機器であり、医療機器ではありません。